

育てたい資質・能力に関する一覧表

令和6年度

向東中学校区で 育成すべき 資質・能力	【知識・ 技能】	【スキル】	【態度・価値観】	
小学校で育成 すべき資質・能力	知識 技能	表現力	主体性・積極性	協働する力
低学年	各教科等に関する 個別の知識や技能	自分の考えや思いを、相手に伝えることができる。	身近な対象に進んでかわり、意欲的に学習したり、生活したりすることができる。	友達、先生、家族、地域の方々等、身近な人々と進んで接することができる。
中学年		自分自身のこと、自分の考えや思いを、相手に理解してもらえよう工夫しながら伝えることができる。	課題解決のために、進んで挑戦し、最後までやることができる。	友達、先生、家族、地域の方々等、様々な人々と関わりながら協力して、課題を解決することができる。
高学年		相手や場面に応じて言葉の使い方や表現の仕方を工夫しながら伝えることができる。	課題解決の過程において工夫したり、進んで挑戦したりし、最後までやることができる。	他者との対話を通して、協働しながら課題を解決することができる。
中学校で育成 すべき資質・能力		表現力	主体性・積極性	協働する力
中学1年		課題に応じて、比較や分類をし、根拠をもとに結論を導き出すことができる。	集団生活や体験活動を通して発見した課題に対して、自分の考えや知識、知恵を出し、主体的に解決し、自信を高めていくことができる。	集団の一員である自覚を持ち、問題意識を共有化して、その解決に向けて全員で話し合ったり、役割を遂行したりすることができる。
中学2年		課題解決に向けて、多様な情報を整理し、目的に応じて活用し、根拠をもとに説明できる。	課題に対して、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、プロセスを振り返って次につなげていくことができる。	自分や集団の向上に向けて何をどのようにするかを考え、対話を通じて自分の考えや集団の考えを発展させることができる。
中学3年		既習事項をもとに、見通しを持って課題解決を図り、相手意識を持って論理的に説明できる。	自己の個性や能力を生かしながら、多様な課題に対して、主体的に判断しながら解決しようと意欲を持ち、新たな価値を創造する力を育むことができる。	対話や議論を通じて互いの考え方の共通点や相違点を理解し、相手の考えに共感したり多様な考えを統合したりして、協力しながら問題を解決することができる。